

令和7年度第1回名古屋大学医療安全管理業務監査委員会議事録

日時： 令和7年5月21日（水）10:00～11:10

場所： 医系研究棟1号館 地下1階会議室

出席者： 柵木委員長、長谷川（潤）、長谷川（ふ）、松下、矢野の各委員

本院側出席者：丸山病院長、長尾副病院長（医療安全管理責任者）、池末薬剤部長（医薬品安全管理責任者）、川嶋医療機器総合管理部長（医療機器安全管理責任者）、梅村病院講師（患者安全推進部）、栗原病院助教（患者安全推進部）、中村主任臨床工学技士（臨床工学技術部）

議事に先立ち、委員長から委員の交代（長谷川（潤）委員）について紹介があった。

議題

1. 令和6年度監査報告書（案）について

総務課長から、資料に基づき、令和6年度名古屋大学医療安全管理業務監査報告書（案）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

2. 医療安全管理責任者の業務状況について

長尾副病院長から、資料に基づき、令和6年度のインシデント報告について、過去最多の件数であったこと及び職種別・診療科別の報告傾向等に関する報告があった。また、院内全職員を対象としたチームスキルトレーニング研修については、コロナ禍により一時的に受講率が低下したが、現在は回復傾向にある旨説明があった。

3. 医療機器安全管理責任者の業務状況について

川嶋医療機器総合管理部長から、資料に基づき、材料部における滅菌機器の品質保証強化に向けたバリデーションの実施状況について説明があった。これについて、各委員及び本院側出席者から次のとおり意見等があった。

（○監査委員 ●病院出席者）

○滅菌操作の不備により医療に影響を及ぼしたケースはあるか。

●経験上、そのようなケースはない。滅菌バリデーションには万全の体制を整えているが、万一不具合が生じた場合には、速やかに原因を特定し改善措置を講じられるよう、トレーサビリティシステムを導入している。

4. 医薬品安全管理責任者の業務状況について

池末薬剤部長から、資料に基づき、未承認新規医薬品等評価委員会の審査概要及び疑義照会の記録・管理方法並びに医薬品安全運用協議会の活動状況等について説明があった。

5. 患者安全推進部の業務状況（トピックス）について

梅村病院講師から①「新たに完成した事例調査報告書」について、栗原病院助教から②「報告書確認について」、長尾副病院長から③「CQSO、EQSO、AQSOプロジェクトについて」及び④「2017年に発生した頸部術後急変による事故調査事例について」、それぞれ資料に基づき説明があった。これについて、各委員及び本院側出席者から次のとおり意見等があった。

②について

○画像診断における情報共有・フォローアップ不足による医療事故防止の観点から、報告書未読時の通知機能やフラグ機能等をシステムに組み込む取り組みは非常に評価できる。今後、その効果についての経過報告をお願いしたい。

6. 患者安全推進委員会の業務状況について

委員長から、資料について確認していただき、意見・質問等ある場合は、会議終了後に事務局まで連絡していただくよう説明があった。

7. 講評

委員長より、各委員から講評をお願いしたい旨の発言があり、以下のとおりコメントがあった。

○全体として高水準の医療安全が維持されている。インシデント報告件数が増加していることは、病院の医療安全に対する姿勢や日々の対応が着実に実践されているあらわれであると受け止めた。

○インシデント報告件数に目標値を設定している点について、全職員による積極的な報告を促す趣旨と理解した。報告件数だけでなく、発生頻度や内容にも着目し、重大インシデントについては2年以上にわたって再発防止に取り組んでいる点は評価できる。

○医療安全管理が高いレベルで適切に実施されていることが確認できた。今回の事件事例は残念ながらあるが、その後の対応は適切であったと認識した。内部統制や業務への意識も高く、優れた体制が整っていることが確認できた。

○医療安全に向けた体制が大きく進展していることを実感した。病院全体としての体系的かつ継続的な取り組みに感心した。

8. その他

委員長から次回開催は11～12月を予定しており、日程については後日事務局を通じて調整する旨の案内があった。

以上